

科目名	現代社会	学科・学年・学級	商業科・1学年・全クラス
		単位数	2単位（週2時間）
使用教科書・副教材等	[教科書]	高等学校 新現代社会（帝国書院）	
	[副教材]	ニュービジョン現社（浜島書店）	

### 1 学習目標

- 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って現代社会と人間についての理解を深めます。
- 現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断する姿勢を身に付けます。
- 自らの人間としての生き方や在り方について考える力の基礎を養います。
- 上記三項目の学習の成果を踏まえて、良識ある公民としての必要な能力と態度を養います。

### 2 学習方法

- 現代社会の学習とは、細かな年代や法律の条文を覚えることではありません。基本的な事柄を学習しながら、それぞれの出来事にはどのような背景があるのか、他とどのように関わっているのかを、倫理や社会、経済などの様々な観点から主体的に追及するように意識しましょう。
- 現代社会では、学習対象が社会と人間であり、生きている現代社会に焦点を当てます。授業だけに捕らわれずに新聞やニュースを見たり聞いたりして、興味や関心を広げてみましょう。
- 現代社会では、民主主義の基本理念である人間の尊重と、社会認識の基本である科学的な探求の精神に基づいた学習を展開していきます。人間としての在り方、生き方について考えていきましょう。

### 3 学習評価

#### (1) 評価の観点と方法

観点	評価	評価の観点	評価の方法
関心・意欲・態度		現代社会について多様な角度から理解するとともに、青年期の意義、経済活動の在り方、政治参加、民主社会の倫理、国際社会における日本の果たすべき役割などについて自己との関りについて考えているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・授業で使用するプリント</li> <li>・課題プリントの提出状況と内容</li> </ul>
思考・判断・表現		現代の社会、文化、政治、経済、倫理における知識をもとに、人類の課題を多面的、多角的に考察しようとしているか。 多様な角度から現代社会を捉え公正に判断し、自ら人間としての在り方、生き方について考察しようとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業で使用するプリント</li> <li>・質問に対する発表の内容</li> </ul>
資料活用の技能		諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用し、社会的事実を追求する方法を身に付けているか。 追求し考察した過程や結果を、様々な方法を用い、適切かつ論理的に表現できているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業で使用するプリント</li> <li>・質問に対する発表の内容</li> <li>・提出物</li> </ul>
知識・理解		現代社会を理解するのに必要な基本的知識を身に付けているか。 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて広い視野に立って、現代の社会と人間について理解を深めているか。 経済や政治の原理を、福祉、人権、平和の立場からとらえ、一定の知識、理解が備っているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>

#### (2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、小テスト、プリントや課題の提出状況、授業態度・出席状況、授業中の発表等を総合して行います。

学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

#### 4 学習のポイント

- 一時間一時間の授業を大切にしてください。年間を通して継続して予習、授業、復習のサイクルを徹底することが大切です。
- 教科書はもちろん、副教材も必ず用意してください。指示がなくても自分で調べてみるようにしましょう。
- 活発な発言や質問を通して積極的に日本史の授業に参加しましょう。みなさんの「なぜ」「どうして」という疑問をふくらませ、考える習慣が身に付くと、現代社会の学習が楽しくなります。

#### 5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	「現代社会」の学習について 第Ⅰ部 現代社会の諸課題とその捉え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代社会」の学習について、その意義や学習内容の概要、評価の方法などについて理解します。</li> <li>・地球温暖化の原因は、私たち自身の生活から生じていることを学習します。</li> </ul>
5	第Ⅱ部 現代社会のしくみと私たちの生き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の資源やエネルギー資源には限りがあること、現代のあらゆる産業は石油に依存していることを学習します。</li> </ul>
6	第Ⅰ章 現代の社会と自己実現 第Ⅰ節 青年期の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆化社会、管理社会、高齢化社会、情報化社会、国際化社会を我々の生きる社会として具体的に学習します。</li> <li>・現代社会の中でどのような生き方が自分らしい人間的な生き方なのかを探求し学習します。</li> </ul>
7	第Ⅱ節 よく生きるとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生における青年期の意義を考察し、大人として成長していくための課題が何なのかを問いかけ、学習します。</li> <li>・青年期が社会の変化とともにどのように変化してきたのかを、歴史的な観点から学習します。</li> <li>・日本の伝統的な共同体における生活文化を学び、それが持つ現代的意義を学習します。</li> </ul>
9	第Ⅱ章 現代の経済と国民の福祉 第Ⅰ節 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済変化の原動力は科学技術の進歩であること、また、それが与える生活の便利さと危険性を学習します。</li> <li>・資本主義社会における財、サービスの市場取引、企業の種類および企業間の提携と経営の多角化について学習します。</li> <li>・経済の基本原理としての市場原理を科学的に考察します。同時に、市場の失敗としての独占、寡占、公共財や外部経済について学習します。</li> <li>・日本銀行の金融政策は何を目標にどのような政策を行うのかを学びます。また、日本における社会保障制度の概要と今後の課題を学習します。</li> </ul>
10	第Ⅲ章 民主政治と民主社会の倫理 第Ⅰ節 民主社会の原理と日本国憲法 第Ⅱ節 日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代民主主義思想の背景となった社会契約の考え方を学習します。</li> <li>・議院内閣制と大統領制の仕組みを学び、社会主義国の政治機構の特色を概観します。また、それらを踏まえて、日本の政治機構の長所や短所について学習します。</li> </ul>
11	第Ⅳ章 国際社会と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の成立過程について学びます。また、日本国憲法が規定している平和主義、基本的人権の尊重、国民主権の内容と理念について学習します。</li> <li>・国民主権の下での国会、内閣、裁判所の地位や役割を学習します。また、地方政治や地方財政の現状や問題について研究し学習します。</li> </ul>
12	第Ⅰ節 国際社会の動向と貧困の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会成立の意義について学ぶと同時に、今の国際社会が形成されるに至った経緯について概観します。また、国際社会における集団安全保障についても学習します。</li> <li>・国際連合の果たす役割が平和問題、南北問題、人権問題、環境問題、難民問題に及んでいることを学習します。</li> </ul>
1	第Ⅱ節 国際社会の動向と平和主義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化の動きが加速する中で日本はどのような役割を担うべきかを研究します。</li> </ul>